

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL 03(3404)7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

実際の取り組みを体験し
悩みを相談・共有する

通所リハビリ利用者家族の交流会



集团体操を体験する利用者の家族

5月24日の土曜日、10時～12時に通所リハビリテーション（以下、通所リハビリ）の利用者家族に、「利用者が通所リハビリでどんなことをしているのか知ってもらおう」というテーマで、交流会を開催しました。少しですがご報告させていただきます。

はじめに「通所リハビリ」とは、介護保険で認定を受けた方が、日常生活における自立支援を目的に主治医の指示に基づき、介護老人保健施設、医療機関等に通い、リハビリを受けることができるサービスです。

集团体操などを体験

「これは大変
これを45分も!」

交流会ではまず家族

に、到着してすぐ手洗いをしてもらいました。毎日行う動作なので感覚的にはしっかり洗えていると思っているのですが、実際は不十分なことが多いのです。

インフルエンザやノロウイルスには手洗いが効果的なので、説明しながら一緒に手洗いをしました。

口腔体操では嚥下（飲

飲めない
嫌がるはずだ

トロミ入り飲料試飲

リハビリで行っている個別リハビリの説明をして、集团体操やレクリエーションの一部を体験してもらいました。



み込み)のメカニズムを説明した後、舌麻痺の簡単な体験を行い、飲み物にはトロミ剤を入れて飲んでもらいました。

介護する側は「トロミを付けないといけないのだから仕方が無い」、トロミを必要としている方は「美味しくない、気持ち悪くて飲み込めない」と感じています。

家族からは今回体験をしてみても「これは飲めない、嫌がるはずだ」という感想が多く聞かれました。

もちろんトロミの入った飲み物に抵抗のない方もいますが、多くの方が飲みづらさを感じています。「嫌だから飲まない」

参加した家族の声

- ・見学したいと思っていた。
- ・次は実際にやっているところを見学したい。
- ・通所を利用している家族やスタッフと接する機会を、得ることができて良かった。
- ・介護される立場が分かり、今後に役立つと思う。
- ・介護制度の変更や新規事項があったら、解説して欲しい。
- ・家族介護者同士の話合いの場があると助かる。介護うつが心配。

困っていること

個別に質疑応答

となってしまうと1日の水分摂取量が不十分になり身体の不調が起きてしまいます。

「むせたら大変だから」とドロドロになるほどトロミを付けてはいけません。通所リハビリではトロミの必要性や濃度について言語聴覚士に相談する必要があります。そこで検査が必要であれば受診をお勧めしています。

このように家族に通所リハビリでどんな取り組みを行い、どんな対応ができるかなど知ってもらう良い機会となりました。

またリハビリについての質問や、実際介護している困っていることなどの質疑応答の時間では、利用者の身体機能についてそれぞれ質問がありました。そこで、「〇〇様の場合は…」というように個別でお話をしました。

「ベッドから起き上がる時手伝っていたら、自分の腰が痛くなってしまった」と話される方には、実際に「起き上がり」について実演も行いました。こういった技術を生活援助技術（介護技術）といいますが、ちょっとしたコツを覚えるだけで

「幸せ」と感じ、それが私に伝わったのかと▼先月1日、安倍内閣は集団的自衛権行使容認の閣議決定を行った。徴兵制の臭いがしてきそうだ▼この冬には孫が3人になる。次代に真の平和な時代を引き渡すために、黙ってはいられない。(み)

たくみ外苑薬局の「営業時間変更」のお知らせ

- ・月～金曜日 9時00分～18時00分
 - ・土曜日 9時00分～15時00分
- (終了時間が1時間早くなります)

実施予定日 2014年8月1日より

これからもよろしくお願いいたします。

千駄の萱

父は終戦を22歳で迎えている。口数少なく、穏やかな人だった。享年55歳。

私も昨年その年齢をこえた。生前まだ小学生だった私に軍隊にいた時のことを話してくれたことがある▼大陸で飛行機のエンジン整備部隊配属。「字が上手だったから、よく上官から代書を頼まれたんだ。だから一度も殴られたことはなかった」「鉄砲は練習で撃っただけで、銃口を人に向けたことはなかった」「いわゆる後方部隊だったから弾が飛び交う所には行かなかったし、部隊がいる所も戦場にはならなかった」▼私が軍隊に対してあまりマイナスイメージを持たなかったのは父のせいかもしれない▼しかし今思う。父の時代は徴兵制だったし、今は奴隷的苦役であるとして廃止されている。殴り殴られ、殺し殺されるのが「普通」だったから父は自分の経験を「幸せ」と感じ、それが私に伝わったのかと▼先月1日、安倍内閣は集団的自衛権行使容認の閣議決定を行った。徴兵制の臭いがしてきそうだ▼この冬には孫が3人になる。次代に真の平和な時代を引き渡すために、黙ってはいられない。(み)

通所リハビリテーション 主任 矢野可奈子